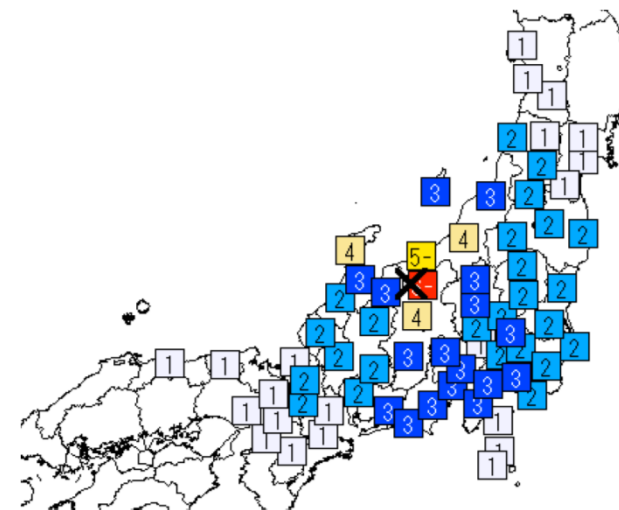


長野県北部を震源とする地震における土木研究所の技術支援



- 平成26年11月22日22時08分に長野県北部を震源とする地震が発生し、長野県長野市、小谷村、小川村で震度6弱を観測する等、長野県北部地域を中心に強い揺れに見舞われた。これにより、負傷者44人、住家被害は全壊47棟を含む423棟に上る等(11月24日18時30分内閣府発表)、各地で大きな被害が発生した。
- この地震により、長野県と新潟県を結ぶ**国道148号線**で**土砂崩れ**が発生し、**通行止め**となった。当該国道は**地域の主要幹線道路**であるため、**早期に復旧する必要があった**。
- 長野県からの要請**により、土木研究所では**道路斜面の専門家**を派遣し、**現地調査**と合わせて**専門的見地から技術的助言**を行った。
- 土木研究所職員は、**現地調査で確認した崩壊地の状況**について説明するとともに、**国道の通行埋め解除のための応急対策の考え方等**について助言した。



震度分布(気象庁報道発表資料:「平成26年11月22日22時08分頃の長野県北部の地震について」より抜粋)



崩壊した土砂で通行できなくなった国道148号線



長野県に対して技術指導を行う土木研究所職員(地質チーム)